

立ち止まってもいい！！でも逃げちゃダメ！

夢追人 第9号

1月が終わります。学校の中のあなたたちの姿を見て感じるがあります。『間違いなく、昨年4月の姿とは断然変わって来たぞ！』、『多くの生徒が、前を向いて着実に歩みを進めているぞ！』と感じるこの頃です。これまでの1年間、順風満帆な毎日であった人よりも、何らかの困難や苦しさに出会った人の方が圧倒的に多いのではないのでしょうか？成績がなかなか伸びない。どんなに練習しても部活動の技術が伸びない。家族や友達との関係で悩みが絶えない……。一人一人が、問題を乗り越えながら今日を迎えていると思います。

しかし、この苦しい経験を乗り越えた事で自己成長を遂げたあなたたちが、今、ここにいるのです。自分では気づかないかもしれないけれど、この一年間を通して、小さな事であっても目の前の困難を一つ一つ乗り越えたあなたたちの『勇気』が、成長したあなたたちを創ったのだと思うのです。

2年前、ドリカム講座でお話ししてくれた、沖縄少年院元法務教官の武藤杜夫さんが、次のようなメッセージを私たちに残してくれています。

『君たちはね、いろいろな苦しみがこれまであったと思う。自分で自分が嫌になるときだってあったと思う。でもね、それでいいんだよ。君たちは、今を生きてるだけで100点満点なんだからね…』

また、次のようなメッセージも伝えてくれました。『何かをするときって勇気がいるよね。でもね、その勇気は、あるか、ないかが大切ではないと思う。その時、勇気を出すか、出さないかが大切なんだ…』

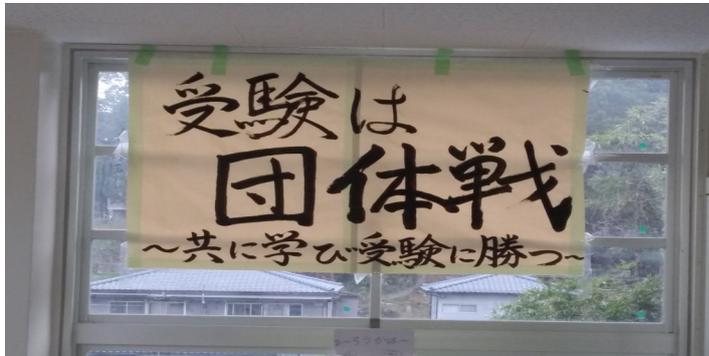
未来に向けて、まだまだ成長過程にあるあなたたちです。太宰府中の学び舎の中での出会いを大切にしながら、これから待ち構えているどんな困難をも乗り越えていってほしい。困難を乗り越えるためには、立ち止まって、自分を振り返ることもあっていいと思います。他の人に追い越されようと、じっと立ち止まって自分の歩みをじっくり考える時間があってもいいと思うのです。

しかし、一番行けないことは、言い訳をしてその場から逃げていくことではないのでしょうか？。場合によっては逃げることも得策の時があるかもしれません。ただ、自分が進むべき時に、安易に言い訳をして逃げることだけは避けてほしいと思います。自分自身の不運や困難を嘆いて『あの時、〇〇だったから、失敗したんだ！』と語ることで同情を求めるのではなく、『自分は、〇〇だったけど、□□のことだけはやることは出来た！』と強い生き方をめざしてほしいのです。言い訳をしない、他人の責任にしない生き方には、真の救い手が必ず訪れることを信じています。

新年を迎え、太宰府中生徒347名の前向きな瞳の輝きを感じながら、校長としての思いを並べてみました。『みんな！今年もみんなと一緒に進んでいこう！失敗したってよかろうもん！…』

環境は無言の教育者！

太宰府中自慢の一つに、『校内掲示物』を挙げてよいと思います。大変美しく、見応えのある掲示物が太宰府中の校内には溢れています。作り手の丁寧さと、見る側の『掲示物を大切にしよう』の気持ちが掲示物の美しさを引き立てていると感じています。



太宰府魂

★☆☆☆☆
★ テレビドラマ『同期の桜』をポケッと観ていました。そこに、こんな台詞がありました。
★ 「私には夢があります。故郷の島に橋を架けることです」
★ 「私には夢があります。一生信じ合える仲間を作ることです」
★ 「私には夢があります。その仲間とたくさんの人を幸せにする建物を作ることです」
★ 番組は終わっても、このフレーズが脳裏から離れられません。太宰府中生徒全員で、それぞれが、
★ このフレーズで自分の夢を語る場があってもおもしろいかもしれないと思っています。夢って本当
★ に素敵です。でも、夢を叶えるって本当に難しいです。うーん、でも、夢があったら生きる力が湧
★ いてくるような気がするのです。だから、みんなに夢追人になってほしいのです・・・
★☆☆☆☆